



子供たちのための朝食キッチン

コンセプト

現代、朝食を食べない子供は増加しています。統計では 10代の15%は全く朝食を食べない結果が出ています。

朝食を食べないと睡眠中に低下した体温を上げられないため、体と脳の活動が鈍くなる結果が出ています。

そんな子供たちに 自分たちで朝食を作り、食べるという習慣をつけてもらうためのキッチンをご提案します。

メリット

- ・小学校の頃に朝食を食べないと朝食を食べない習慣がついてしまう。
- ・作ることにより「食育」また、「母親への理解」を深められる。
- ・違う学年の子や母親、地域の人との交流の場になる。等..

食材の調達方法

- ・授業などで作られる農作物の利用。
- ・参加者の親から低料金で会費を回収する。
- ・給食の残りの食材を使用する。



教わる
地域の方から子供たちへ朝食の作り方を教えてもらう。

作る
自分たちで作ることで料理の楽しさやコミュニケーションの場が生まれる。

食べる
朝食を食べることにより、正しい生活習慣が遅れる。

教える
親に地域の方から教わった料理を教える立場になる。さらに親とのコミュニケーションを生む。

家に帰り、親に朝食を作ってあげる、または一緒に作るコミュニケーションの場を発生させる。

地域の人ならではの昔ながらの朝食を教えるもらうことで郷土料理など覚えられる。

キッチンに収納出来る椅子

理科の授業などで育てられる農作物の利用

平面図

